

変奏曲いろいろ

今回は「変奏曲」の特集としました。その定義は、Wikipediaによれば…

<<<「変奏」とは 主題のリズム、拍子、和声などを変えたり、旋律にさまざまな装飾をつけるなどして、变形することである。「変奏曲」とは、一つの主題が様々に変奏され、主題と変奏の一つ一つが秩序を保つように配列された楽曲である。>>> とあります。

更にクラシック関係では、独立した変奏曲は 48例あり、作品の一楽章としての適用例は 26とありました。 ジャズの曲では、殆どがアドリブ等による変奏曲形式に該当するでしょう。

今回は、それらの中から三曲を演奏日順に選びご紹介します。

1. GOLDBERG VARATIONS BWV.988 J. S. Bach (1685~1750)

(邦題:ゴルトベルク変奏曲…約75分→時間の関係についてずれも数分に短縮します)

	演奏者(楽器等)	録音年 発行元・発行年	CD 番号等
1	ワンダ・ランドフスカ (harpsichord)	rec.1934 (mono) 東芝 EMI (株)	CE30-5217
2	グレン・グールド (piano)	rec.1955 FIC inc Japan 1991	ANC -82
3	ヘルムート・ヴァルヒヤ (hammer chembaro)	rec. 1961 EMI music Japan 2008	TOCE-1412
4	グスタフ・レオンハルト (chembaro)	rec. 1975 BMG VICTOR. INC	BVCD-1834
5	キース・ジャレット (harpsichord)	digital rec. 1989 ECM 1989/ ポリドール Japan	POCJ-1990

◆作曲者/曲◆

J. S. Bach がライプツィヒ時代の1742年に作曲したクラヴィーア(オルガン以外の鍵盤楽器の総称)練習曲集全四巻の第四巻からなる曲集の一つ。長い曲にて、最初の「アリア」に続いて、第1変奏から第30変奏まであり、最後に最初の「アリア」を再現して終わる。

◆演奏者◆

◎ワンダ・ランドフスカ(1879~1959) ポーランド・ワルシャワ生まれ、

原題に残る永遠の名盤と。

◎グレン・グールド(1932~1982) カナダ・トロント生まれ、

彼の演奏は緩急自在にて個性的、本曲の演奏例はいくつもあり、ファン多数。

◎ヘルムート・ヴァルヒヤ(1907~1991) ドイツ・ライプツィヒ生まれ

バッハの鍵盤楽器曲演奏における 20世紀最高の権威とされる。

◎グスタフ・レオンハルト(1928~2012) オランダ生まれ、

現代のチェンバロ奏者の最高峰と。

◎キース・ジャレット(1945~) アメリカ・ペンシルベニア州生まれ

クラシックから入門のピアニスト、マイルス・ディヴィスのバンドに加わる等多彩な活動経験。

変奏曲いろいろ

2. ROCOCO VARIATIONS Op.33 Pyotr Illyich Tchaikovsky (1840~1893) (邦題:ロココの主題による変奏曲)

演奏者 (楽器等)	発行元・発行年	CD 番号等
シムカ・ヘレド (cello/指揮) フィラモニア・デ・ラス・アメリカス	CLASSICO Denmark	CLASSCD-423 #1 (18:40→短縮)

◆作曲者/曲◆

チャイスクフスキはウラル地方の生まれ。音楽一家の環境に育ち、公務員となるも音楽家に転身して才能を發揮した。この曲は、1876年から同77年にかけて作曲された。チェロ協奏曲の形態による単一楽章であり、「チェロ協奏曲」と名付けられていないため、協奏曲としては呼ばれない。

…<< 時間の関係にて短縮します>>

◆指揮/Cello◆

シムカ・ヘレドは24歳にてイスラエル・フィルハーモニーの主席チェロ奏者を務め、多くの一流オーケストラと共に演、最近にも指揮・チェロを兼任したアルバムを制作している。

3. MY FAVORITE THINGS (邦題:私のお気に入り) … アルバム名も同じ

Richard Rogers <リチャード・ロジャース> (1902~1979)

演奏者 (楽器等)	発行元・発行年	CD 番号等
ジョン・コルトレーン (soprano/tenor sax)、 マッコイ・タイナー (p)、スティーブ・ディヴィス (b)、 エルヴィン・ジョーンズ (ds) Oct. 1960	Warner-pioneer corp. Japan 2002	30DX-1000 #1 (13:41)

◆作曲者◆

ニューヨーク出身。作詞家のロレンツ・ハートと出会い、「マイ・ファニー・ヴァレンタイン」、「プルー・ムーン」など多くのスタンダード・ナンバーを生む。その後オスカー・ハマーシュタイン二世と「サウンド・オブ・ミュージック」など多くの名作ミュージカルを作曲した中の一つ、作曲は1959年。

◆曲◆

ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」のうちの1曲。内外のミュージシャンによるカバーでは62例あり、そのなかでは器楽系のジャズ・ミュージシャンが1/4を占め、モダン・ジャズでは、ウェス・モンゴメリー (g)、ケニー・バレル (g)、ビル・エバンス (p) 等の名が連なる。

◆演奏者◆

J・コルトレーン (sop-sax)、U.S.A. ノースカロライナ州生まれ。(1926~1967)

1950年代のハード・バップ時代から、1950年代のモード・ジャズ、更にフリー・ジャズの時代にわたり、大きな足跡を残した。活動時期は20年程であったが、アルバム換算にて200枚を超える多数の録音を残した。

以上

